



恭賀新年

年頭の辭

悲しかりし昭和二年は鳥羽玉の間に包まれて流れの如く去り我等は茲に昭和三年の新春を迎へて感なきを得ざるなり
吾人は新年に於て其意義に就き種々思考するであらうが要は何等かの意味で自己の生活を改進するといふ點に於て一致するであらう過去に如何に生きて來たかを反省し、將來如何に生くべきかを決定し其獲たる目標に向つて勇往邁進不退轉の精神を作す一機軸を足台として活社會に活躍せんとするものに於ては決して單なる慣例の一行事ではあるまい。されど「等しき原因は等しき結果と相次ぐ」年々歳々廻り來る新年初頭に於て吾人は幾何を思惟し如何に決心し如何なる努力を之が爲めに行し而して如何なる結果を獲得したであらうか？いふまでもなく凡ゆる出來事に善所し最善を爲したことであらうが永遠から永遠に生きねばならぬ吾人々類全般からそれを見れば極めて少數なものを除ける他は如何にも卑屈な無力自己欺満的な醜いむくろを横たいてゐるではないか。吾人は徒らに空想に耽るものではないが昭和の世男大勢は吾人大和民族の活動の舞臺であらねばならぬ。然るに吾人は内に之を顧みて斯くあるべく豫想され得るであらうか？見よ我等が有つ今日の狀態を、それは悉く翻譯的である、科學に於て然り宗教然り哲學に於て又然り文化施設に於て更に然りである。物質の輸入超過は越えて惡思想の入超となり不生産的陋習を固持せる國民生活は先進諸國との差を愈々擴大し、吾人の安危を負ふ第二國民の教育には精神生活の生命なる宗教を忘れしめて潤ある人生を替えて荒野に導き入れ以て哲學的なりと稱し得々として喜び、奸あるあるものは善人の血を吸ひ、政治は利權の器具となり、宗教に貧婪飽くことを知らざるものゝ手に委ねられ、粗製濫造を商標の考へ、カンニングを權利の如く思惟し、役徳を要求して憚らず貞操は商品の如く買賣せられ、節制は凡人にのみ強要せられ、偽證は常識の一部なりと自他共に默認し恥ぢざる東世に於て何すれど其所に正義と愛の輝きを見得やうぞ「汝ら目あれど見ず耳あれど聞かず」とは千古の金言である。嗚呼昭和三年よ、眠れる人々よ醒めよ、而して改進せよ

磐城立憲新報

發行所 磐城縣石川郡平町
社報新憲立城磐
電話七町一平郡城石縣島福
社報新憲立城磐

日行發	定額	共稅郵	廣告料	印刷費	發行人
毎月十五日一日	部金二十錢	郵券代用二分	特刊一回八十錢	小泉宗雄	

賀正

石城銀行組合

田邊忠藏
平白銀町

大谷時計店

赤心堂病院

平銃砲火藥店

松崎長三郎

平藝妓屋組合

平町會議員一同

代表員 柏原眞吾

縣會議員 鈴木辰三郎

縣會議員 山崎吉平

醫師 藤沼平次郎

磐城銀行頭取 中野甲藏

錦村 山崎登

田水力電氣株式會社社長 金成通

高橋龜松

湯本町會議員 渡邊長作

縣會議員 古川傳一

湯本町長 高木巳之吉

農工銀行平支店副支配人 河西八十治

磐城銀行支配人 瀧澤俊平

前縣會議員 大平睦四郎

磐城實業銀行支配人 鈴木源藏

河田梅吉
平町大町四番地(電話七百六十二番)

川部村長 兒玉滿平

長橋町 柏木支店
古銀治町 青木精米所

平町一丁目
電話四五二番

公娼問題 其の一

法律は風俗を導く力あり

某法僧家の談

私は法律學者として茲に法律を解説しようとするのでない、第一に法律が社會に如何なる影響を與ふるかを説き更に各商の法例を擧げて、最後に法律を運用し公娼問題に一解決を與ふることを企てたいと思ふ。此の點に於て現行の法律は如何なる點に於て其の缺點を露呈し、如何なる點に於て其の補綴を要するかの點に於て、私は先づ法律に依らなければならぬ。然らば社會風俗の第一手段は、私に於ては運動を無價値ならしめ、道徳を以て之を導くことである。果して五錢で命令しても急に左様な問題に對して日本の法律と西洋のそれと、如何なる相違があるか、西洋の法律は如何に進步してゐるかを一瞥して見たい。

嗚呼

クリスマス

近來のクリスマスが盛んに行はれて劇や餘興を演ずるの中心になり宗教的意の味が薄らぐ傾向があるのを「嗚呼クリスマス」の嘆聲を聞くやうになつた。此祝祭に歡喜するのはよい、沈んだ居らねばならぬ理由はないが嚴密な精神を失ふと、人の癖として偏り易い所かのためでなく演藝の參觀に「マ」に單に笑ひ興する諸設備である。斯様な状態である。走に傾き、肝腎の精神が粗から世人は此祝祭の真意を忽に成り行くのは自然の歸誤解するのである。よしそる手袋が偶々お祭り気分を結である、又此時に物品のれらの人も極めて寛大に見好む日本人に觀迎せられ、贈答に尠からぬ金銭を消費して眞意が誤られてゐるか一大慮を吹えて萬大實を傳し工面苦心して憐恤の方面精神が稀薄であらうが此參へた形である。終りに歐米

謹賀新年

土木建築請負業 江口 忠一	土木建築請負業 猪狩 菊三郎	土木建築請負業 荒川 銀次	土木建築請負業 大平 又一	土木建築請負業 只野 忠康	土木建築請負業 佐藤 三平	磐城建物株式會社	材木店 櫛田 榮太郎	材木店 織田 末松商店	材木店 早川 材木店	材木店 渡邊 留三郎	土木建築請負業 佐々木 健一郎	土木建築請負業 松本 元次郎	材木店 鈴木 材木店	材木店 阿部 材木店	材木店 日進堂 材木部	材木店 鈴木 林之助	材木商 吉田 佐内	材木商 佐藤 材木店	中川 製材所	材木商 吉田 廣三郎商店
------------------	-------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	----------	---------------	----------------	---------------	---------------	--------------------	-------------------	---------------	---------------	----------------	---------------	--------------	---------------	--------	-----------------

謹賀新年 諸橋 久太郎

諸橋 諸 諸橋 元 守三 次郎

鐵道省請負平出張所

二本松電氣株式會社平出張所

東部電力株式會社平營業所

賀 三 柏 川前村

共榮社 川前村

佐藤 幾彌 赤井村

薄硝子製造所 内郷村小島

鯨岡 潔 湯本町

鈴木 義晴 赤井村

小田炭礦株式會社 好間村

山 永 川

鑄造界の大立物
技術の優秀と製品の確實と
價格の低廉とを目標とせよ

工藤源吉氏

本邦鑄造界の權威として常御即位記念として經三尺四寸に社會の信用厚く本郡平町と云ふ東北一の大鑄口を七丁目新築の店舗と一大寄進すると同鑄口の鑄造も工場を有し電力を使用し技同氏の手になると聞く其の術優秀なる職工と忠實なる他大小の神佛像及消防用半徒弟數名を役とし終日工場鐘等殆ど枚舉に遑あらず昨内にゴツ／＼と職工に伍年もの如き一般工業界は本振て専念業務に熱中しつつあるに不拘氏は各方面より好々爺は即ち工場主になり引きも切らざる各種の注り鑄造界に其の人ありと知文と鑄造に忙殺されつつあり氏は技術の優秀と價格の低廉と期日の確實と三氏は一見凡人の如きも頭格の低廉と期日の確實と三腦明敏にして業務に關する際し特に氏に望む本年は納知識豊富且つ技術の非凡な大典記念として各社寺に奉るは茲に喋々するまでもない然して氏は清廉潔白、義俠心に富む斯業界に稀なる人である最近氏の鑄造に係る小名濱町小學校庭に建設されし故會田先生の銅像の如き眞に生前の風貌に接するの觀あらむは勿論俗天上人の靈場として全國に名高き大浦村最勝院の石門に氏の手になれる一佑天上人靈場、最勝院の九字の如きは雄渾なる筆勢と其技眞に迫り無心の行人をして思はず頭を下げしむ、尙本年早々本町新田町の有志家相謀り源觀上人の開基とし徳一大士を中興開祖と仰さ東北一の靈場、一名龍燈樂師として著名なる赤井閣伽井嶽、新義眞言宗智山派別格本山常福寺の本堂に

平町青物組合

- 會長 小川屋商店 才雄小路
- 副會長 高木屋商店 (三丁目)
- 會計 新妻商店 (古鍛冶)
- 森商店 (長橋)
- 袋屋商店 (四丁目)
- 石屋商店 (細屋町)
- 大方商店 (胡摩澤)
- 高子商店 (長橋)
- 扇屋商店 (長橋)
- 穴澤商店 (長橋)
- 春木屋 (研町)
- 清水屋 (細屋町)
- 阿部商店 (細屋町)
- 中島商店 (古鍛冶)
- 桑原商店 (古鍛冶)
- 藤井商店 (驛前)
- 谷津商店 (胡摩澤)
- 鷺谷商店 (播磨小路)

賀正

山田村 村會議員 大平芳介	山田村 村會議員 大井川朝之助	同 蛭田鐵助	同 大井川捨藏	同 小野順平	同 北郷新之助	同 坂本登	同 下山田丑藏	同 川原吹傳吾
---------------------	-----------------------	-----------	------------	-----------	------------	----------	------------	------------

謹賀新年

新山崎局長 龜田政八	村會議員 菅波長重	神職 秋元龍雄	大和田石松	猪狩門馬	常陸甚平	川内村 郵便局	浪江町 鈴木巨	田村郡瀧根村 細目東雲	同 津久井新太郎
村長 三瓶於兎吉	助役 秋元鐵之助	村會議員 田井永助	渡邊喜三	三瓶太吉	菅波丈四郎	同 河原義衛	同 新妻安助	區長 秋元和吉	同 大和田忠之助

賀正

小名濱町長 鈴木榮	助役 高木保	玉川村々長 永井億彌	助役 鈴木九郎	外吏員一同	山田村々長 安島重三郎	助役 秋山藏之助	收入役 小野末吉	正 大野武春
--------------	-----------	---------------	------------	-------	----------------	-------------	-------------	-----------

賀正

高島屋洋服店

山崎與三郎

木村清治

帝都に於ける
四家秀行氏の事業
今春來四家秀行氏が東京
府下金町に經營中の金櫻製
湯本町會議員
謹賀新年
小名濱町
丸八鐵工場
平運輸株式會社
西洋料理組合
賀正

賀正

高島屋洋服店

平町白銀町(電話八〇七番)

さ東北一の靈場、一名龍燈
藥師として著名なる赤井
閣伽井嶽、新義真言宗智山
派別格本山常福寺の本堂に

川原吹傳吾

下山下巳之吉

秋元 和吉

大和田忠之助 津久井新太郎

正合 春武

山崎與三郎

木村清治

平運輸株式會社
平町西洋料理組合

賀正

謹賀新年

謹賀新年

謹賀新年

丸八鐵工場

吉田屋旅館
新米旅館
錦盛館
福田屋旅館
津村屋旅館
若竹

帝都に於ける
四家秀行氏の事業
今春來四家秀行氏が東京
府下金町に經營中の金櫻園
文化村は理想的の住宅地に
して遠くは富士の英峯を眺
め近くは江戸川沿岸櫻花を
一瞬に收め幼稚園、小學校
は東隣に位し且つ東京市内
成田方面へは京成電車汽車
の往復線が如く現に全町
より東京市内等に通勤する
紳士紳商の數一千人を下
さるべく日に増し發展しつ
つありと
因に右住宅住所所希望の
方は金櫻園差配四家秀文氏
に御照會になれば精々御優
待申上ぐることと

湯本町會議員
石川 德三
小野 忠三
岸 清吉
渡邊 長作
若松 忠兵衛
村上 六平
菅波 駒之助
坂本 好三
宮岡 愿三
宮岡 政三
矢吹 莊司
鯨岡 誠祐
吉田 宗雄
大貫 經次
木村 德三
松川 繁正
上川 才三
濱崎 善三郎

根本權次郎
大浦村
横田源之助
双葉郡富岡町
町會議員
早川清久
富岡町
町長代理
猪狩岡次郎
同町會議員
渡邊秀太郎
富岡町
相馬屋酒類店
富岡町
電二十番

芳賀保三郎
石城郡大浦村
桑園主
馬目支店
銘酒近盛
平田町
水野化粧院
和洋結髪美顔術身法
平四軒町
電話五二五番

瀧根村役場一同
田村郡瀧根村
藤田子之助
瀧根村
阿曾英太郎
瀧根村
泉屋旅館
菅野吉治館
山田明
小野新町
宗像德彌
小野新町助役
夏井村
今泉酒造店
石城郡小名濱町
久保田醫院
鈴木隆宅
小名濱町
浄心光院寺
小名濱町
水野技藝女學校
小名濱町

佐々木善作
小名濱町
鈴木齒科
小野藥店
消防組頭
坂本龜太郎
植田町
佐川龜太郎
植田町
收入役高木五郎
植田町
局馬上一守一
植田町
植田裁縫女學校
植田町
日渡正一
植田町
藤田淺之助
同
鷺保之助
同區長

喜多野屋旅館
山田屋本館
山田屋別館
浮世
伊勢屋旅館
喜よし
つるのや

天理教菊田支教會
石城看護婦學校
植田町

四家秀行
本店 石城郡磐崎村藤原
別邸 東京府下金町金櫻
園文化村
久田克人
東京建物株式會社
(東京市京橋區山城町)
四家秀文
安田貯蓄銀行
(日本橋區本町)
四家康情
東京建物株式會社
横濱支店
(横濱市太田町)

玉川村會議員(順不同)
長瀬主水
丹野喜市
駒木根忠三
丹野寅吉
遠藤半治
小濱熊次郎
箱崎七太郎
小松壽助

和洋酒類
醬油卸商
(叶)新妻義信
富岡町
電三十四番

湯本溫泉旅館組合
ラッキン入セメント管下
水士管
森下商店
平町胡摩澤
大浦村
高木石藏
大浦村
若松芳太郎
大浦村議

扇屋
御料理旅館
平紺屋町

山崎與三郎
平紺屋町

山崎與三郎
平紺屋町

山崎與三郎
平紺屋町

遠藤義一

賀正

選舉違反
種あかし
本紙第七十六號に選舉夢物
兼料理屋を営む「とち和亭」
は一般料理店と多少趣を異
にし紳士向料理店の傾きが
ある。殊に春秋の季節に至
る。

謹賀新年

岡田牛乳舎
平鎌田町
電話五一番

越乃屋
御料理
平電話三三〇番

赤羽鐵太郎
佐藤岩次郎

トルマ
平
電話

正賀
鑛山請負業
古市喜三郎

菅野源重
材木商
湯本信用無盡會社
平料理屋組合
町五丁目
山野邊藥局
山野邊東次郎

第四區協議會
公立學校校長懇話會

正賀 員議會村崎磐 藏猶岩白		正賀 護新賀 年				正賀 員議會町田植 秋千平大	
遠藤長太郎 廣部炭礦 勿來町	赤津庄兵衛 消防組頭 勿來町	川口幸吉 植田町	秋山材木店 秋山市造 植田町	一材木店 植田町	片岡醫院 植田町	植田町 乘合自動車商會 鈴木勝見	鳳城炭礦株式會社 植田町
田子洋行 勿來町 大日本炭礦	石川行壽 勿來町 至誠炭礦	赤津修一 勿來町 酒造業	鈴木子之吉 勿來町	森重次郎 勿來町 々會議員	小松作次郎 勿來町	小松魯平 川部村 酒造業	北郷秀吉 勿來町 區長
舟生治療院 勿來町 伊勢炭礦所長	久ノ濱魚業組合 雙葉郡久ノ濱町	佐藤本吉 雙葉郡廣野村 村長	木田茂平 廣野村 小學校校長	大越三吉 廣野村	助役小磯軍平 廣野村	猪狩鈴平 廣野村 局長	里見富士丸 木戸村 村長
奥村貞二郎 木戸村 伊勢炭礦所長	小松龜太郎 龍田村 小學校校長	中村立躬 泉村 村長	阿部醫院 泉村	川瀨屋 泉村 御料理	玉屋御料理店 勿來町	小野馬次 川部村	小松醫院 川部村
宮下謙一郎 勿來町 舍乳牛	中山吉之助 川部村	仲屋旅館 雙葉郡廣野村 折木鑛泉	黑田鐵工場 小名濱町 石諸油發機製造	中村佐次 主 目丁四平	永井安太郎 番七三七話電 〇七町仲町平	福住屋 川部村	坂本淺吉 勿來町
渡邊梅吉郎 勿來町 町會議員	小野七三郎 勿來町 町會議員	渡邊統一 木戸小學校 校長	永山耕一 木戸村 局長	鷹清昇 縣會議員	藤屋旅館 泉村 局長	三島五郎 鹿島村	福住屋 川部村

正 賀 員 議 會 縣 藏 滿 崎 野		年 新 賀 謹		正 賀 店 服 吳 井 三 郎 次 幸 原 柏 町 平	
赤井村 松本 金治	赤井村助役 柴崎 龜雄	赤井村 中島 松次	赤井村 松崎 松太	福島炭礦醫局 野村 智選	川前村收入役 松本 武雄
川前村助役 會田 惣之丞	川前村 菊地 壽七	赤井村 草野 三郎	赤井村 宮内 喜作	上小川村 醫師 永井 元造	赤井村 佐藤 幾彌
赤井村 白石 岩尾	赤井村 薄硝子製造所	赤井村 遠藤 米吉	赤井村 中里 商店	湯本町 鈴木 商店	湯本町 鈴木 喜太郎
赤井村 草野 助次郎	赤井村 武藏 屋	赤井村 四家 又一	赤井村 松本 德一	赤井村 吉田 泰平	赤井村 鈴木 喜太郎
赤井村 新葛 支店	赤井村 新葛 本店	赤井村 白石 興行部	赤井村 吉田 泰平	赤井村 鈴木 商店	赤井村 鈴木 喜太郎
赤井村 長谷川 好太郎	赤井村 鈴木 藤太	赤井村 山野 邊政太郎	赤井村 熊 邊 渡	赤井村 鈴木 喜太郎	赤井村 鈴木 喜太郎
赤井村 好間 鑛業所	赤井村 大場 醫院	赤井村 直井 藤太郎	赤井村 三谷 工業部	赤井村 猪狩 金之助	赤井村 富岡 三津太郎
赤井村 鈴木 健治郎	赤井村 草野 廣智	赤井村 菅波 時計店	赤井村 野木 龜之助	赤井村 根本 莊橘	赤井村 鈴木 榮吉郎
赤井村 助之傳 藤佐	赤井村 松 忠 本 根	赤井村 治 幸 瀨 川	赤井村 一 德 山 永	赤井村 治 幸 瀨 川	赤井村 治 幸 瀨 川

賀 正
鐵道省請負平出張所
水戸協會

正 賀

二本松電氣株式會社

平出張所

正 賀

東部電力平営業所株式會社

忽に成り行くのは自然の歸誤解するのである。よしする手段が偶々お祭り氣分を結である、又此時に物品のれらの人も極めて寛大に見好む日本人に觀迎せられ、贈答に虧からぬ金錢を消費て眞意が誤られてゐやうか一犬虛を吠えて萬犬實を傳し工面苦心して憐恤の方面精神が稀薄であらうが此參へた形である。終りに歐米

正

會社組合

材木店
渡邊 留三郎
平六丁目電話八百八番

材木商 吉田廣三郎商店

次郎

古川傳